

抗コクシジウム剤の分析

Analysis of Coccidiostat

ジクラズリルとナイカルバジンは、動物医薬品として幅広く使われている抗コクシジウム剤です。食品衛生法によって豚の筋肉や内臓などの残留基準値が設定されています。今回は 10 ppm のジクラズリルとナイカルバジン（検出は N,N'-ビス-4-ニトロフェニルウレアとして）の分析を行いました。移動相には LS/MS に使用が可能な酢酸アンモニウムを用い、中性条件で分析を行いました。また、移動相のアセトニトリルをメタノールに替えるとピークの溶出順序が変わるので注意が必要です。検出限界は 0.1 ppm 以下でした。

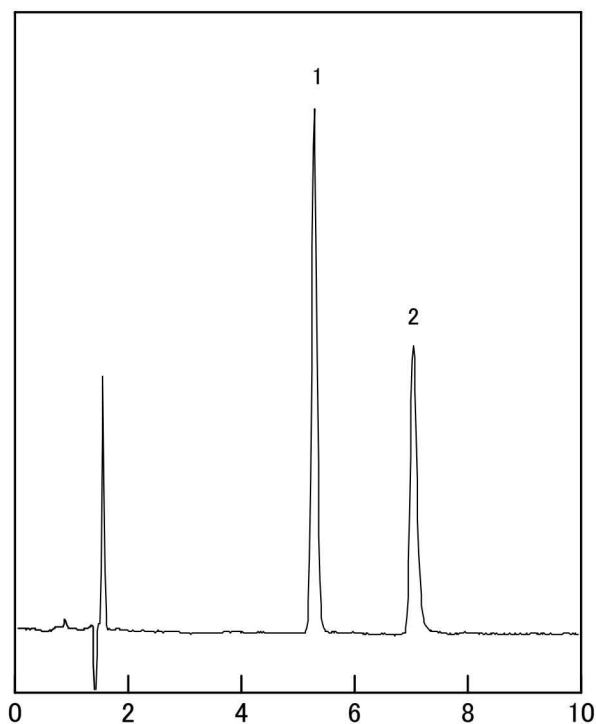
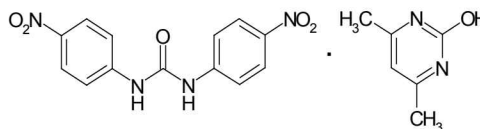
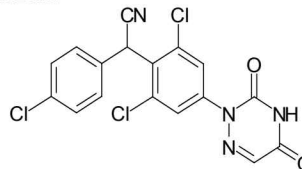


Fig. Chromatogram of Coccidiostat.

1. Nicarbazin



2. Diclazuril



【Analytical conditions】

Column: **L-column ODS**(C18, 5 μm, 12 nm) 4.6 mm I.D. × 150 mm L.
 Mobile phase: CH₃CN/10 mM Ammonium acetate (50/50)

Flow rate: 1 mL/min
 Temperature: 40°C
 Detection: UV 225 nm
 Injection volume: 10 μL
 System: -